

2022/9/26(月)

短答直前期 ホームルーム

担当：[財務理論・個別相談] 平林

今回の配付資料一覧

- ①ホームルーム_スライド(このレジュメ)
- ②短答式本試験 当日のポイント・持ち物リスト

【主な内容】

LINEでの質問対応等について
12月短答までのポイント
計算ミス分析と対策
各科目のポイント・計算メンテナンス

本セミナーは、後日web school「講座からのお知らせ欄」にてアーカイブ配信します。

★目標年度・状況ごとに、以下の内容を
LINEでお知らせします。

- セミナー・相談会等 実施情報
- 主な講義/答練日程の公表
- 模試・答練の平均点等速報情報

23目標 初学者向け
公式LINE

LINEID検索:「@598ctkam」



23目標 リスタート生向け
公式LINE

LINEID検索:「@l23cvkuk」



本日の内容

はじめに お知らせ

(財理質問用オープンチャット、成績速報値、校舎HR、アンケート) 3-6

10月~12月短答までのポイント、体調・メンタル管理 7-8

スケジュール目安 9

答練受験後 分析例 10

計算のミス分析と対策(インプット・時間切れ・やらかし) 11-15

暗記の詰め 16

直前期各科目のポイント(インプット・アウトプット強化)

企業法 17

管理会計論 18

監査論 19

財務計算 メンテナンス例 20-21

財務理論 22

12月短答以降のスケジュール目安 23

その他の事前質問・回答 24

【別途配布資料】

短答式本試験当日のポイント・持ち物リスト



財理/学習法質問用 LINEオープンチャットについて

- 財務理論テキスト・確認問題集の内容等に関する質問を、平林が承ります。
※短答答練・アクセス答練については、ネタばれ防止のため、質問メール・質問コーナーをご利用ください。

★過去の質問/回答について、キーワード検索が可能です。
他の方のご質問で理解が深まることもあるはずですよ。ご活用ください。

※通知が多いと感じたら、通知をオフにするか、
1度退会・後日質問希望時に再度参加してもOKです。

承認完了まで、
少々お待ちください。

過去の質問や
回答が表示されたら、
参加完了です。

【参加方法】

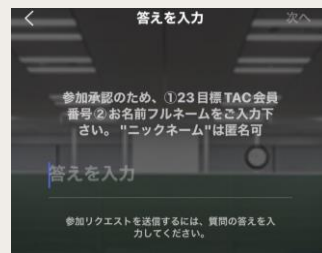


上記QRコード読み込み、
もしくは
Web School「講座からのお知らせ」欄内リンクから
接続



新しいプロフィールで参加

下段の
「新しいプロフィールで参加」
ボタンを選択



STEP 1. 参加リクエスト時
以下2つを入力。

- ①TAC会員番号
- ②お名前(フルネーム)

例 ①000000 ②田中花子



STEP 2. 「ニックネームを入力」

任意のニックネームを入力。
名字推奨。

例 田中
(珍しい名字や匿名希望の場合、
仮名でもok)

※既に他の人に使われている場合は、
田中@ 田中・ など記号を追加など

※会員番号とお名前フルネームの入力がない場合、
恐れ入りますが、一旦参加リクエストをキャンセルとさせていただきます。
再度、「新しいプロフィールで参加」ボタンから参加リクエストをお願いします。

※申請後、「新しいプロフィールで参加」ボタンが表示される場合、
入力情報不足等により参加リクエストが一旦キャンセルされている状態です。

成績速報値について

事前にいただいたご質問

Q.基礎答練2の点数が1よりも下がり不安です。暫定の平均点等を教えてください。

Q.みんなが出来た問題を早く知りたいです。

Q.答練・模試で、上位何%を目安とするとよいでしょうか。

短答答練の平均点・上位20%最低点等について、
23目標から速報値を共有。

更新時は公式LINE・Twitterでお知らせ。

基礎1 受験者数 39人

サンプル校舎：日吉校

	財務	管理	監査	企業	総合(全科目提出者)	
最高	184	87	95	100	445	89.0%
平均	119.21	56.54	70.66	69.74	316.92	63.4%
上位20%	152	71	85	90	389	77.8%

基礎2 受験者数 51人

	財務	管理	監査	企業	総合(全科目提出者)	
最高	180	90	95	100	443	88.6%
平均	118.43	57.58	58.20	67.80	311.28	62.3%
上位20%	148	75	90	80	386	77.2%

※短答直前答練以降、
問題ごとの正解率データ速報値も
Web School上「学習フォロー」
→「教材」欄で共有予定。

★TACの答練・模試で、まずは全科目で平均点を取ること(E判定脱出)。
危なげなく受かるには、上位20%最低点を目指す。

校舎でのホームルーム・相談会



30分ほどポイントセミナーの後、

希望者はお名前を記入していただき、教室で個別相談を承ります。



【現在決まっている日程】

9/27(火) 14～17時 横浜校

10/10(月・祝) 10～13時 神戸校

10/10(月・祝) 16～19時 なんば校

10/15(土) 14～17時 札幌校

10/16(日) 14～17時 仙台校

★相談会 追加実施日程・・・LINE公式アカウントで
QRコードか、LINE ID検索で追加
お知らせ ▶

23目標 初学者向け
公式LINE
LINEID検索:「@598ctkam」



23目標 リスタート生向け
公式LINE
LINEID検索:「@123cvkuk」



受講生アンケートについて

選べる
e
GIFT

電子マネー500円分
プレゼント！
※100名様限定

TAC公認会計士講座

2023年目標
公認会計士講座を
受講しているみなさまへ

CHANCE

受講生アンケート
ご協力のお願い

- 上級講義・短答対策講義 -

回答は
コチラ▶



所要時間
5分！

～ アンケート回答の流れ ～

初学者向け本科生
↓
「上級講義」に関する
回答をお願いします

上級Wチャンス本科生
↓
「短答対策講義」に関する
回答をお願いします

- 回答期限 -
2022年10月31日迄
お一人様1回のみのお返答と
させていただきます。

- 謝礼送付 -
2022年11月1日以降
対象の方のみメールで
進呈いたします。

上級講義&短答対策講義、教材について、アンケートを実施します。

初学者向け本科生コースの受講生→上級講義について回答
上級Wチャンス等上級生→短答対策講義について回答

100名様限定で謝礼（電子マネー500円）を送付

アンケートリンク
<https://forms.gle/CiA95284RfukHxjx8>



今後の教材作成・講義運営の参考とするため、評価と併せて、できればコメントもお願いできれば幸いです。よろしくお願いいたします。

2022年9/26(月)23目標12月短答直前期HR 6

12月短答までのポイント

1. インプット・アウトプット双方を強化。

★答練受験後、足りない力を分析 (p.10~)

【インプット】

知識を体系的に「覚えている」・「使える」状態に。

テキストの理解を土台として、暗記を詰めて行く。

まずは短答問題集や答練で、特に出やすい論点や出方を知る。

暗記箇所や重要かつ苦手な箇所は、ふせんを貼るなど強弱を付ける。

1周目は
テキストと
見比べって
OK.

まずは
重要かつ苦手な論点から
↓
最後 2.3週間
得意なものも点検

【アウトプット】

時間配分、やさし対策、文章の正誤判断力。

残りの答練/全国模試受験、復習、問題集復習を通じて、
時間配分や試験中の行動などを修正。

正解した問題・記述についても、
あやふやな点がないか丁寧に復習する。

★アウトプットを通じて、
インプットの穴をさらに探す。
★定着できているか、
サンプルテスト&周辺想起。

2. 毎日全科目取り組む。得意科目を放置しない。

2週間以内に、財務計算・管理計算も論点1周。メンテナンス・ピークを合わせる練習。
正確な知識をテキストで定期的に点検。

3. 体調・メンタル管理。睡眠を大事に。

★詳細は次ページ。

体調・メンタル管理について

- 睡眠を大事にする。
- しんどくなったら上を向き、天井を見つめてじっとする。

ネガティブな思考を切り上げられる。

- 質問コーナーで不安を吐き出す。
- 紙に全部書き出す。

書き出したものを眺め、長年の友達から相談を受けたと思って、客観的なアドバイスを考えてみる。

- 口癖や表情筋、姿勢で感情をコントロールする。

少し口角を上げるようにする。肩甲骨を緩める。

★ 模試・答練のA～E判定は、かなり厳しく付けている。凹まず最後まで食らいついていくこと。最後の模試でE判定や総合4割程の場合でも、不足している力の分析・最後の猛烈な追い込みにより、逆転合格するケースが毎年多い。

12月短答までの大まかなスケジュールとポイント(初学者・リスタート生共通)

7月

Input強化

8月

講義受講
・
理解強化

output
強化

9月

7月半ば～
財計・管理
短答
アクセス
答練
全15回
(各週1回)

基礎答練は出題範囲あり。難易度も易しい。
理論科目は前半のみ、計算は基礎マスター範囲。
詳細はWeb School 学習フォロー→教材 出題範囲表参照。

8月下旬頃

短答基礎答練①

9月半ば頃

短答基礎答練②

理論科目
短答
アクセス答練
全5回

章ごとに本試験形式で
正誤判断練習。

★計算科目のアクセスが、
9月末で一段落。
トレーニングではなくアクセス
の解き直しと、周辺のテキスト
確認で2週間以内論点1周。

⇒計算の自習時間が減らせる。
理論科目の比重を増やす。

★問題集、アクセス、
直前答練3回分と模試で、
時間配分・やさし対策、
文章正誤判断等を練習。

正確性・スピードの
向上/維持のため、
計算アクセスは回転教材
として繰り返し解く。
★網羅性はテキストで確保

10月上旬・半ば頃

短答直前答練①

直前答練からは、
本試験レベルの難易度
(もしくは本試験以上)。

10月末/11月上旬頃

短答直前答練②

★インプット・アウトプット面で
不足している力を分析。
★復習を通じて、
周辺分野を固める。

回転期

まずは重要かつ
苦手な箇所を
おさえていく。

得意な箇所も、
2週間以内には
確認など。

★結論暗記&計算メンテナンス。
特に最後の2週間は、
計算科目の論点1周を意識。

11月19・21日 短答全国公開模試

11月末頃

短答直前答練③

模試当日が本試験でも
構わない状態が理想。

★本試験まで毎日アウトプット練習を適宜継続。
重要事項を覚えているか、サンプルテスト。
正誤判断の感覚を鈍らせない。周辺を想起。
★計算はやさし対策のため、
ほどよく忘れた問題も1問解くなど。

※ 模試前に完璧に覚えたものも、3週間放置すると抜けてしまう。
知識・記憶が新鮮な状態になるように再度点検。

12/11(日) 短答式本試験

いつでも頭から知識が取り出せる状態に。

2022年9/26(月)23目標12月短答直前期HR

答練受験後 分析例

久々で知識抜けていた(しばらくはアクセス一日1つとテキスト1冊でメンテしよう)

表タイトル読み飛ばし(✓マーク付けよう)

★内訳と原因を分析。対策を考える。

有価証券、SO、棚卸資産

時間がかかるBを解いて時間切れ
(作業量考えずに手を付けた。見直し練習)

例: 財務 132 計算 84 個別 A7/10問 B1/2 C0/1 総合4/6 A4/5 (時間切れ。後で解けた。) B0/1 (飛ばせた)
理論 48 5/9問 A5/7問 セグメント…手薄だった、減損…読み飛ばし(区切ろう) B0/2 (本試験までにおさえる)

間違えた問題

- 計算科目 手を付けられなかった難易度A…**時間があれば解けたか、解説を読む前に試す。**
その他分析の詳細は次ページ以降。
- 理論科目 難易度A…テキストを見ながらなら正解できたか?読み飛ばしなどか?分析。
難易度B…どうすれば2択までたどりつけたか分析。テキスト該当ページが思い浮かんだか?

正解した問題

- 計算科目 難易度A…不安に感じた箇所はないか?下書きに向上の余地は?
難易度B…**難易度Bになっている理由は?**(難解or作業量)
作業量が多い場合、一旦飛ばせたか?
- 理論科目 **誤りの論拠**は合っていたか?
周辺の重要な知識・基礎概念についても思い出せるか?

計算科目のミス分析について

Q. 計算問題について、目標点数になかなか届きません。

間違えた問題について、どのように復習すればよいのでしょうか。

Q. 解説を見たら全て理解はできますが、初見で正解ができません。

A. 「なぜ初見で解けなかったか？」

特に、難易度の易しい問題について、
一問ずつ**徹底的に原因分析**をしましょう。

主な原因

1. インプット不足(覚えていない、メンテナンス不足)
2. 時間切れ(時間配分ミス・スピード不足)
3. やらかしミス

難易度Bの問題 ……どんな理解があれば正解までたどりつけたか？

なぜ難易度Bになっているか？分析(手間？論点の難しさ?)。

● 間違えた問題だけでなく、正解した問題についても復習。

主な原因① インプット不足

(覚えていない、メンテナンス不足)

ex. 「仮にテキストを見ながらであれば、正解できた。」

「元々得意な論点だったが、
久しぶりに触れたら細かい知識・計算処理が抜けていた。」



- 自習時、問題を解いた後に、
他の処理パターン・周辺知識まで想起。
- 定期的にテキスト点検。 網羅的かつ正確な知識⇒初見で正解できる
- 答練・本試験前のピーク合わせ (概ね10日～長くても14日以内論点1周など)。

★会計士試験は試験科目が多く範囲も広いため、
自分の記憶力をあてにしないことが重要。

主な原因② 時間切れ

(時間配分ミス・スピード不足)

ex. 「もう少し時間があれば、自力で正解できた。」

- **時間配分**を見直す。以下の2つは「**一旦飛ばす**」(特に管理会計論)。

①筋道が明確に立てられない難解な問題

②**作業量が多い問題**

また、**数字が合わない場合、一つの問題に執着しない。**

「52 -」 解答開始時刻をメモする。7分を超えたら一旦飛ばすなど。

- 電卓や下書きの物理的なスピードを上げるというよりも、**計算処理を思い出すスピードを速く**する。テキスト目次を見てすぐ想起できるか。
- やらかし対策で正確性を上げる。★**手戻りによる時間のロスが減る。**
- 講師の下書きを参考に、「**過不足**」の**無い下書き**を目指す。
普段から解法プロセスを説明できるように意識。

★まずは
正確性を重視。

主な原因③ やらかしミス

ex.「自信を持って解き、正解したと思ったが、誤りの選択肢だった。」
「電卓ミスで数字が合わなかった。」
「下書きは合っていたが転記ミスしていた。」



- 解く際の行動・作業プロセスを修正する。
- 内容に応じて、具体的な対策を立てる(次ページ参照)。
- 初見又はあまり解き慣れていない問題で、
やらかし対策を試す。 *10分ほどでもOK.* ※夕方以降など、疲れた時間帯も効果的。

★短答・論文共に、やらかしミスをいかにゼロに近づけるかが勝負。
持分比率の算定など、合否に関わるような重要な箇所は、慎重に取り組む。

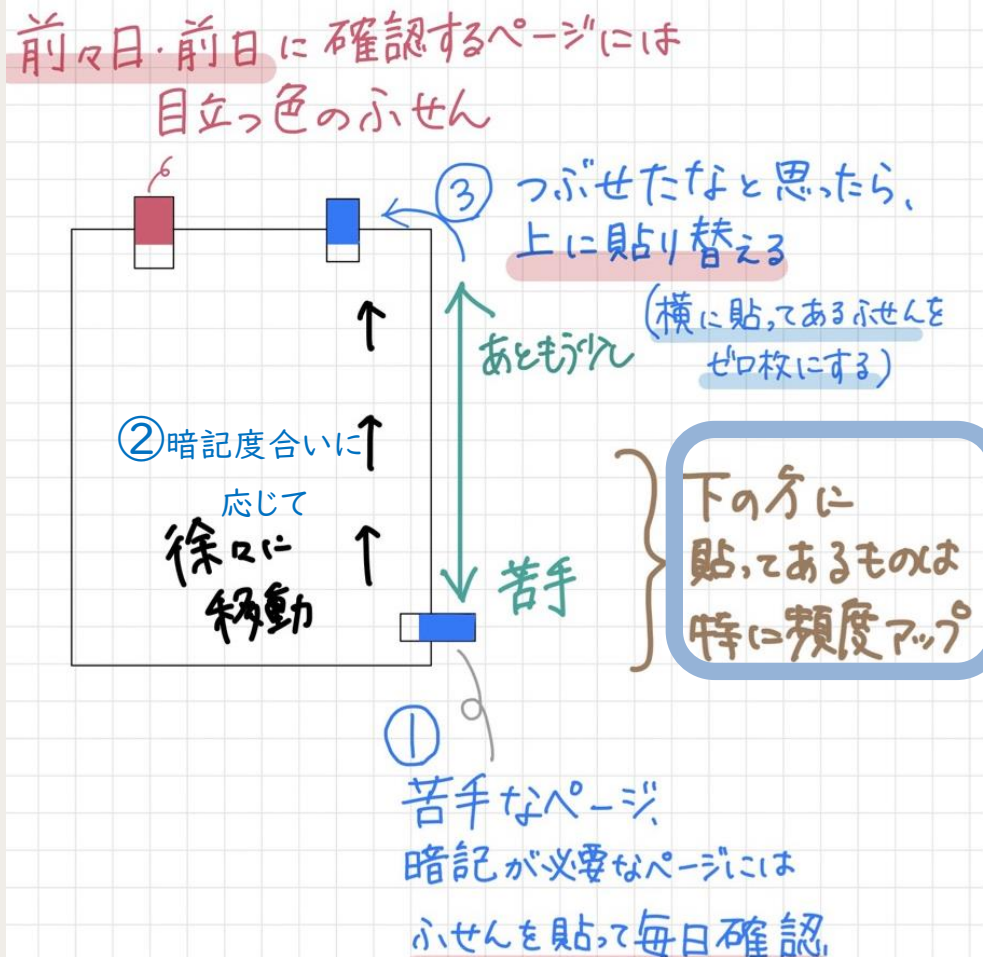
やらかしミス 原因と対策例

原因	対策例
①資料の読み飛ばし、 年度・決算日、税率、単位、 四捨五入、償還日・事業 供用日の指示をチェックもれ	マーカーや色ペンを使いながら読む。 (短答・論文共に、問題用紙・下書き用紙には使用可能) ✓マークを資料脇に付す(右端改行付近が読み飛ばしやすい)。 事前にこれまでのやらかしミスまとめ等を振り返る。
②下書きを省略しすぎた	講師の下書きを参考に過不足なく書く。 月割計算がある論点は特に注意。
③自分の下書きの読み間違い	数字ははっきり書く。自習時からB5などに下書きを大きく書く。
④電卓を使わず暗算してミス	極力暗算はしない。月割は指折り数えるなど。
⑤電卓の打ち間違い	打つスピードを緩める(処理を思い出すスピードを速くする)。 ブラインドタッチはしない。特に重要な箇所は、気持ちゆっくり 1・2度電卓を入れるなど。
⑥電卓や資料からの転記ミス	転記時に、ペンで指差し確認。電卓は体の近くで打つ。
⑦指示をチェックしたが、 解いているうちに忘れた	解答中の自分の目の動きを振り返り、目に入る場所に書く。 解答選択直前に、一旦問題用紙・下書き全体を俯瞰。

暗記の詰めについて

テキストのうち暗記箇所・苦手な箇所について、消せるペンで強調したり、ふせんを貼る。

【ふせん活用例】



★まずは、
重要かつ苦手な箇所をつぶしていく。
複数論点を比較しつつ結論をおさえる。

★模試前に完璧に覚えた!と思ったものも、
放置すると抜けてしまう。

知識・記憶を新鮮な状態にするため、
特に本試験前の2週間は
得意なものも含めてざっと点検しておく。

企業法

output



短答問題集・短答アクセス・短答答練の復習。

周辺知識を想起・点検。会社類型ごとに説明できるか？

よく間違える重要論点は、条文又はテキストを確認。

input



- テキスト論点ごとのまとめ表を点検。
- 覚えやすいように、できるだけ趣旨でおさえる。イメージをしつつ。
- 複数論点を比較する。

機関設計自由の原則に対する例外（327 条、328 条）の内容・趣旨		
機関設計自由の原則の例外	条 文	趣 旨
公開会社は、取締役会を設置しなければならない。 （1号は次の2号以下優先して適用される）	327 条 1 項 1 号	公開会社では、株主が多数かつ変動し、株主による会社経営およびその監督に期待できず、株主に代わる会社統治の担い手が必要となるからである。
監査役会設置会社は、取締役会を設置しなければならない。 （非公開会社の場合に適用される）	327 条 1 項 2 号	取締役会を設置しない簡素な機関構造を選択した会社が、監査の面についてだけ監査役会という複雑な仕組みを採用するニーズはないから、逆に、監査役会設置会社は取締役会の設置が強制されている。
監査等委員会設置会社は、取締役会を設置しなければならない。 （非公開会社の場合に適用される）	327 条 1 項 3 号	監査等委員会設置会社は取締役会の監督機能を充実させるという目的で新設された株式会社制度だから、取締役会の設置が強制されている。
指名委員会等設置会社は、取締役会を設置しなければならない。 （非公開会社の場合に適用される）	327 条 1 項 4 号	指名委員会等設置会社では、三委員会は取締役会の内部機関であり、その構成と権限行使は取締役会と密接不可分だからである（400 条、401 条、406 条等）。
取締役会設置会社（監査等委員会設置会社および指名委員会等設置会社を除く）は、監査役を設置しなければならない。 ただし、非公開会社たる会計参与設置会社は、監査役を設置しなくてもよい。	327 条 2 項本文 327 条 2 項	取締役会設置会社では、株主に代わって業務執行を監査する専門機関が必要であるし、また、取締役会による監督（362 条 2 項 2 号）には自己監督の弊害がありうるからである。 ただし、取締役会設置会社といえども、非公開会社では、株主が少数かつ変動しないから、株主による業務執行に対する監督にもある程度は期待できる。そこで、非公開会社

管理会計論(計算/理論)

★テキスト想起・暗記→該当単元の問題演習。
2週間以内に論点1周を意識。理論の暗記詰め。

input



- **テキスト目次**を見て、**処理の場合分け**を想起。 ex.作業層の処理…2パターン
- 細かい計算処理・理論の暗記事項を意識して、テキスト**本文確認**。
- **原価計算基準原文**を、**出やすい箇所**を意識して確認。 **脚注も**。

★具体的なイメージをしながら。
表現が異なっても、
判断ができるように。

ex.テキスト前半・後半共に13~18頁分ずつ→10日~14日で1周

★テキストを確認していて処理があやふやな論点は、
部分的にトレーニングで点検(解く、又は解法プロセスを説明)。



output



その日もしくは前日テキストを確認した単元について、
理論・計算ともに、サンプルテストとして、少し問題を解く。

テキストの周辺知識を即座に思い出せるか。

理論の答練…文章から誤りの箇所を探す力、4肢の比較で正誤判断する力を向上/維持。

計算の答練…難易度の見極め、作業量を見積る力、正確性を向上/維持。

数字が合わない時に粘り過ぎない。

監査論

★テキスト想起・暗記→該当単元の問題演習。

6章制度論など、細かい箇所の暗記を本試験までに詰める。

input



テキスト目次や章・節扉を見て、要求事項等の場合分けを数単元想起。

- 本文の要求事項や重要な脚注周辺について、重要な箇所から徐々に。
- テキスト内監査基準原文を、出やすい箇所を意識して確認。



output



その日又は前日確認した単元について、少し問題を解く。
テキストの知識を当てはめる意識で数問。周辺を想起。

答練をサンプルテストとして使用し、文章から誤りの箇所を探す力、
4肢の比較で正誤判断する力を向上/維持。

★初見の記述を見た時に、どこかで見た問題ではなく、
テキスト関連ページがよぎる状態に。

財務計算

★問題を解いて→周辺を想起・テキスト点検。やらかし対策。

output

実際に解く。 Last7日～10日間ほどは若干増やすのも◎。



- 難易度の見極め・解答時間の見積り
答練の初見時に試す。答練復習時は、丸ごと1回分ではなく、1問あたりで実施。
- スピード向上・維持 ★解き慣れた問題でOK。
アクセスや答練からピックアップ。
- やらかしミス対策 ★解き方を程よく忘れた問題を使用。10分でもOK。
夕方・夜などあえて疲れている時間帯に、実際に電卓を叩き、1～数問正確性を意識して解く。
久しぶりに解く答練の一部や過去問「易」。全て直近数週間で解いている場合、トレ短など。

input

網羅的に周辺知識を想起・点検。 2週間以内1周が目安。



- アウトプット後、周辺を想起。
- テキスト等で処理の場合分け等をざっと確認。

特に最後の10日は、アウトプット練習の後、テキストを1日1冊パラ見など。

アクセス・答練の講師下書きレジュメも活用。

財務計算 メンテナンス具体例

output



実際に問題を解く。

ex. 「今日はテキスト1に取り組もう」
→アクセス1のうち、現金・有価証券など一部。もしくは、解けなかった問題。

input



《計算が苦手な場合》
しばらくは毎日、
アクセス1～6（個別論点）と7～12など（構造論点・上級重要論点）から
一つずつピックアップして解くなど。

- 解いた論点の**周辺分野を想起**。
- テキストで、**アウトプット時に触れなかった論点**を中心にざっと点検。
慣れたら20分ほどで1日1冊確認など。電卓は叩かない。

ex.
テキスト1のうち。
アクセスとは
別の処理や論点

※3・4回解いて数字を覚えたアクセスは、しばらくは使用目的を想起・点検用に変える。
やらかし対策用は別の問題で行う。**前ページ参照**
原則⇔容認処理、問われる段階損益・B/S区分など、**先入観を持たずに問題文に取り組むことを意識**。

財務理論

- ★短答問題集・アクセス等で、出やすい所を知る。
出方を知って、テキスト上で出題予想・強調・結論暗記。
- ★問題を解いたら、周辺想起・テキスト点検。

範囲が広いので、一日で複数ブロックを数十ページずつ、様々な方法で進める。

財務理論 短答で問われやすい論点の例

- ◎ 原則・容認等の関係 ex.“～とする” ↔ “～できる”
- ◎ 容認規定等が認められるための要件の個数・内容
ex.“～、かつ、～の場合には、～できる”
- ◎ P/L・B/S・CF計算書上の表示区分
ex.販管費・営業外収益/費用、流動/固定、投資その他の資産
- 場合分け ex.“～の場合には、～とする”
- 計上するタイミング
- 計上金額(CFの見積方法、割引率、控除・加算する要素)
- 基準の適用範囲 ex.棚卸資産に該当するか?
- 特別な注記の要否
ex.解約不能のオペレーティングリースに係る未経過リース料の注記

output



論証暗記は一旦置いて結論。

問題を解き、周辺の結論・短答重要論点を想起。
テキストに戻り、マークを付け、周辺の重要箇所を復習。
テキストで覚えにくいところを強調。

input



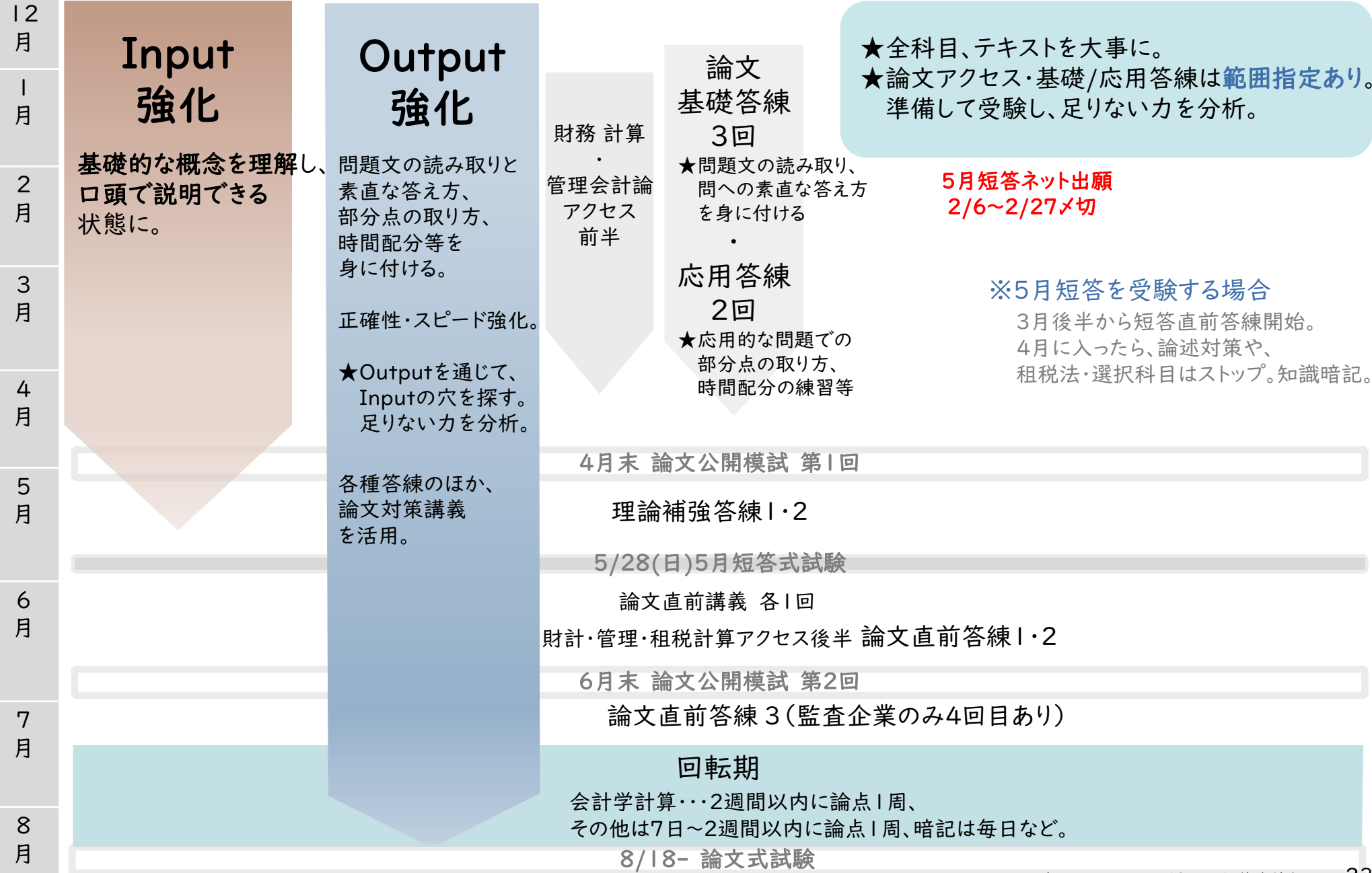
まず重要な箇所中心。
テキストのうち覚えにくい結論・容認規定要件等について、消せるペンや付箋で強調。1周目は1ページ3-7分など。

大きな基礎知識の穴が無いか、テキスト章扉の「word」を確認し、不明点はすぐに本文確認。... 9日で1回など。

短答に出やすい重要な箇所をおさえる。暗記し辛いページに付箋。
じっくり読みたくなったら付箋を貼り、一旦はスピード感を持って先に進む。

参考：12月短答以降のスケジュール目安

※詳細は12月短答後ホームルームで説明



その他いただいた事前質問①

計算 直前期について

Q. 2023目標を入門期から勉強している者です。今更で恐縮なのですが、勉強方法への質問です。

私自身、答練をペースメーカーにしながら、計算科目がダメダメなので、忘却曲線を参考にして、余った時間を「財務」「管理」の計算科目にあてて、学習進度表の最初から解いて勉強を進めています。本試験で、1ヶ月以上、触れていない論点があるのは普通なのでしょうか？

合格された方々は、直前に手が付けられてない論点や、手を動かさなかった計算科目に対して、トレーニングは本試験では全く問題なかったと言う事なののでしょうか？

⇒ 10月以降は、計算も2週間以内1周点検が目安です。(理論科目は最後3週間は7~12日以内など)

アクセスが一通り終わったら、直前期はトレーニングは使わずにメンテナンスします。

アクセスや答練・過去問集をサンプルテストとして使いつつ、テキストを1周確認しましょう。

スライドp.21/22を参考にどうぞ。

Q. 財務の計算について、上級の授業を半分程しか受けていません。このまま受けなくても大丈夫でしょうか？
また、範囲が上級講義に該当するアクセスについてはどのように扱えば良いのでしょうか？

Q. 試験直前の問題演習について初見の本番形式の問題を解きたいんですが、答練以外に過去問を買って解いたりしたらいいのでしょうか。
(答練は一回解いたので、緊張感が弱まってしまうかと思います。)

やるとしたら、過去問のうち部分的に使うなど。丸1日かけて取り組むのは△。

Q. 租税、経営の授業は、今から受講を始めるのが良いのでしょうか。

⇒ 短答2ヶ月弱前に入るため、12月短答以降に受講を開始しましょう。

その他いただいた事前質問②

特殊商品売買について

Q. 学生時代も受験しており、数年前に勉強を再開しました。以前に比べ、特殊商品売買、特に割賦販売についてテキストで扱う量が減ったと感じます。収益認識基準制定等の関係で勉強する必要性が低下したのでしょうか。

以前勉強していた時、特殊商品売買、特に割賦販売がある場合の原価率算定等の問題で苦労しました。

もし現在も勉強が必要な論点であれば、12月短答に向けてどの程度勉強が必要か教えていただけますでしょうか。

財理テキストp.43-をおさえればOK.

取引の流れを知っておく.

Q. 8月までは、アクセスと基礎答練を遅れずに受けることができていましたが、だんだん苦手な論点が増えてきて、予習、復習ともに想定以上に時間がかかるようになりました。

2回目の基礎答練は十分な準備をしないまま受験してしまい、管理会計は62/100点、財務会計は96/200点でした。

現在アクセスは管理会計・財務会計が8回以降、財理・企業法・監査論は2回以降が溜まっている状態です。

今後どのように予習・復習、答練に取り組めばよろしいでしょうか。

問題集として章ごとに使う扱いでOK.
財計アクセス・管理アクセスを進めろ

Q. 理論科目について、答練は解答解説を読んで適宜テキストを確認するというやり方をしています。

計算科目では解く上でのテクニックなどを身につけられるので解説動画も見ていますが、

理論科目も間違えた部分の解説動画は見た方が良いでしょう。→ 理論科目にも解く上でのテクニックがある。特に気になったらcheck.

Q. 元22目標の者です。金商法は宮内先生が作成されていた昨年度のレジュメを引き続き使用しようと思っているのですが、23目標にあたり変更点などはありますか。

宮内先生がその点に言及していたツイートは発見し、それをもとにレジュメと突き合わせて確認したのですが、よく分かりませんでした。どの辺りかもう少し具体的に教えていただけたら助かります。

⇒基本的に22目標のままでOKです。

22目標レジュメp.19 人数基準「注意点など」枠内は、「6ヶ月通算ルール」を「3ヶ月通算ルール」に修正しましょう。

下記の細かい修正の具体的な箇所については、実際にレジュメを見ながら、

質問コーナー（又は質問メール）で詳細をご確認いただくのが確実です（重要な改正であれば、答練でも扱われます）。

▶p.24「臨時報告書」、「公開買付の対象」と、「大量保有報告書に記載事項」表下の※部分を一部修正。

講師への相談方法



● 質問・相談コーナー [校舎/zoom]

質問コーナー日程表 ▶
(受講生HP「@C.P.A」)



質問コーナー日程表

※日程表内「TA」…合格者チューター

★校舎の質問コーナーの方が、zoomよりも比較的空いています。

近くにお住まいの方は(通信生の方も含めて)、ぜひ校舎質問コーナーをご利用いただければ幸いです。

TAC公認会計士講座【関東地区 質問・相談コーナー】9月予定表 確定版

・【質問・相談コーナー】(通称相談はく)は、お申込み前の方の受講期間にもご利用いただけます。ご利用方法は各校舎にお問い合わせください。
・オンラインで質問できる「質問・相談コーナー-Zoom」の利用方法は、[各校舎]の案内をご覧ください。

校舎	水戸校	新宿校	八重洲校	池袋校	渋谷校	立川校	津田沼校	南田校	大宮校	Zoom
9/1										
9/2										
9/3										
9/4										
9/5										
9/6										
9/7										
9/8										
9/9										
9/10										
9/11										
9/12										
9/13										
9/14										
9/15										
9/16										
9/17										
9/18										
9/19										
9/20										
9/21										
9/22										
9/23										
9/24										
9/25										
9/26										
9/27										
9/28										
9/29										
9/30										

【zoom質問コーナーへの参加方法】

web school トップページ下段

「zoomを利用した質問・相談コーナーについて」リンクから
待機室へ(ビデオオフでOK。スマホからも接続可能)



● 個別成績・学習方法相談(久野/塚本/平林/蓮尾/藤野) [校舎/zoom]

毎週土曜日13時~次週1週間分をネット予約受付 ▶

※通常の質問コーナー(予約不要)でも、
学習全般の質問を各講師が承ります。



Web予約システム



個別成績・学習相談日程
(受講生HP「@C.P.A」)

TAC会計士講座 就職サポート(相澤)

監査法人や会計事務所等への就活・転職以外にも、
下記について相談可能。

- 一般事業会社への就職・転職
- 仕事を辞めて受験専念にするか
- 卒業後働きながら受験を継続するかどうか
- 受験対策を中断して就職する場合の、エントリーシートの添削等

フリーダイヤル【予約不要】0120-527-699(平日14~17時)
メール counselor@tac-school.co.jp

★Web予約システムその他、
メールで希望日時(平日午後、平日夜・土日など)を
伝えていただいて、日程調整の上、
zoomを使ったオンラインでの相談も可能です。

TAC就職相談 Web予約システム



<リアルタイムQ&A>全42件 【MEMO】 抜粋.

12スタート生

Q. 監査論テキストを 22テキストから
これから23に切り換える。書き写しやるか？

→ まず改正点を知る。

その後短問・短答答練 → 23テキストで復習 気になったら 22テキストも参照

問 → テキスト.

(登 ... 例. 11月~ テキスト → 問)
1章起

Q 今PM 終了. 今後の進め方 → 日吉・早稲田校講義日程「2年P」を
締切として参照

Q 理論科目. 後半が手薄 → まずは短問 → テキスト.

イメージしつつ。 A(企ミニテ)

(3)に 出やす. 所を知る!
メリハリ付ける。

Q 原計基準の問題
が解けない

→ 出やす. 所を
知って. 覚える。テキスト1章も注意

Q. 財計テキスト①-⑨の補論・応用が手薄

理論テキストとひも付ける。
→ テキスト点検時パラパラ通読

【MEMO】

Q. Web 論点 全て見ていいか?

Q. ^企 存又番号 賞えた方が...? ~ 10月キバ → 暗し2.output

Q. 官 上級講義 途中. アッセン いったら? → 上級講義
半分受けたらなど.

Q. 答練の復習が3んかかる → テキストに記載のない論点は
全文を転記せず

Q. 財計 連結・企結などの理解が△
テキストにマーク & 答練に
など ふせん

↳ 計算難易度 A が解けるようにする → 理論テキスト
セットで復習

【MEMO】